



# 杉森だより

令和3年1月8日  
調布市立杉森小学校  
校長 清水 吏

<http://www.chofu-schools.jp/sugimori-sho/>



[sugimori-sho@chofu-schools.jp](mailto:sugimori-sho@chofu-schools.jp)

## 新しい年を迎えて

校長 清水 吏

関東地方では、青空の広がる穏やか天気の中、令和3年がスタートしました。去年は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、活動が制限される中でしたが、地域、保護者の皆様に多大なご理解、ご協力をいただくことで、本校の教育活動を行ってきました。改めて御礼を申し上げます。

さて、学校には子供たちの元気な姿が帰ってきました。2学期の終業式、3学期の始業式と、安全を考慮し、放送での式になりましたが、各教室では放送に静かに耳を傾け話を聞く子供たちの姿がありました。また、休み時間には、早速校庭で元気に走り回ったり、友達とおしゃべりをしたりと子供らしい笑顔を見せてくれました。1都3県を対象に新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言の再発令がされました。昨年とは違い、学校の一斉休校はありませんが、学校生活でも、感染の拡大を防ぐために日常の手洗いや、教室換気、3密にならない指導の工夫などを徹底して行ってまいります。今後の感染状況の悪化を考える時、不安もよぎりますが、子供たちの元気な姿や笑顔は、私たち大人にとって勇気と元気をもたらしてくれます。3か月と短い今学期ですが子供たちの成長のために教職員一同気を引き締めて指導にあたります。引き続きよろしく願いいたします。

3学期の授業参観や保護者会ですが、緊急事態宣言が発令されている中で学校に集まっての実施は非常に難しいと判断せざるを得ません。調布市教育委員会とも緊密に情報交換しながら、最終判断をし、お知らせいたします。どうぞご了承願います。

年度当初にメールにてお伝えしましたが、今年度より1年生から2年生に進級する際に、クラス替えを実施します。子供たちは、より多くの友達とかかわり、交友範囲を広げることが一人一人の育ちにおいて大切です。低学年の児童は、クラスの中でのかかわりになりがちです。そのためには、できる限り多くのクラス分けを実施することが有効です。固定された人間関係（強い子が静かな子を従えたり、いつも決まった子と遊んだり）をより柔軟にすることを目指します。また、入学時には各保育園、幼稚園から入学前の子供たちの様子をうかがってクラス分けをしますが、学習面や生活面でのクラスごとの差がある場合もあり、2年進級時にクラス編成を再度行うことで、集団を質的に均等にできる効果もあります。2学期末の保護者会にて説明を予定しておりましたが、保護者会が中止となったため学校だよりでの説明とさせていただきます。どうぞご理解願います。



### 1月の行事予定

※ (1)は学年、①は校時を表します。

8日	金	始業式 C時程
11日	月	成人の日
12日	火	全校朝会 給食始 計測(5) 通級指導始 安全指導日
13日	水	計測(3)
14日	木	B時程 体づくり朝会 計測(6)
15日	金	朝読書 計測(4)
18日	月	委員会活動 計測(2) 書初め展始(保護者参観なし)
19日	火	全校朝会 計測(1)

21日	木	児童集会 たてわり班遊び
22日	金	朝読書
25日	月	クラブ活動(クラブ見学)
26日	火	全校朝会
27日	水	通級在籍学級訪問 4時間授業日 校内研究授業
28日	木	児童集会 学校保健委員会
29日	金	書初め展終 通級在籍学級訪問

## いのちと心の教育

調布市では12月を「いのちと心の教育」月間として、各学校取り組みを行っています。杉森小学校では12月4日(金)に1年生と2年生、8日(火)に5年生と6年生、9日(水)に3年生と4年生が「生命尊重」に関する道徳の学習を行いました。

以下、授業の「ねらい」と子どもたちの反応です。

### 1年 【自分の周りには、たくさんの命があることに気付き、大事にしようという気持ちをもつ。】

「みんな ぜんぶ いろんな」の絵本を通して、生き物にはすべて命があるのだ、と改めて気付きました。命を大切にすることはどういうことなのか、1年生なりの言葉で考え、表現しようとしていました。

### 2年 【生命のつながりに気付き、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。】

「食べる・食べられる」という状況に葛藤する幼いユキヒョウのライナの気持ちに共感し、命について何が大切なのかを考えました。食べるという日常的な行為を通して、どんな命も大切にすることを学びました。

### 3年・4年 【自分の生命は他の生命をいただいて生きていることに気付き、

生かされている自分の生命を大切にしようとする心情を育てる。】

普段口にしてる牛肉も、誰かが大切に育てた命あるものだとことを知りました。そして自分たちは他の命をいただいて生きていることに気付き、学校給食も感謝して残さず食べようという気持ちになりました。

### 5年 【限りある命を懸命に生きることの尊さや生きることの意義を感じ、

生命を尊重しようとする判断力や心情を育てる。】

病に侵されながらも、演奏家としての生き方を全うする徳永兼一郎さんの姿を通して、「一日一日を大切に、自身の使命を全うすることができるよう後悔なく生きていきたい。」と自身の考えを記述する様子が印象的でした。

### 6年 【精いっぱい生きるとはどう生きることかを考えさせ、

かけがえのない命を自分らしく精いっぱい生きようとする心情を育てる】

普段、あまり意識しない「死」を追求して話し合い、人は必ず死を迎えることを意識しながら、「たった一つのかかけがえのない命」を自分らしく、精いっぱいどのように生きていくのかを子供なりに自分ごととして考えるきっかけとなりました。

「全ての生き物には命がある」「自分たちは命あるものを頂くことで生きることができる」「自分の命を大切にすること」を学習できたことと思います。今後の学校教育でも、子どもたちが自分の命、友達の命をはじめ、全ての命あるものを大切にすることができる心を育てて参ります。

どうぞご家庭でも、「いのち」についてお子様と対話をしてみてください。

## 校内書き初め展 保護者参観中止のお知らせ

今年度も1月18日(月)から29日(金)まで、校内書き初め展を開催します。児童の書き初め作品を廊下に掲示し、全校児童でお互いに鑑賞し合います。例年ですと、保護者の方にも放課後などを利用し、参観していただいていたところですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度は保護者参観を中止とさせていただきます。書き初め展の様子などは、学校ホームページでお知らせしたいと思いますので、ご理解の程よろしくお願いたします。